

# 令和5年度事業報告

## 事業総括

平素から稲城市災害防止協会の事業に従事され、本会の目的を達成するためにご尽力いただきました役員の皆様方をはじめ、会員皆様方に心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症分類が令和5年5月から二類相当から五類に変更となり、当協会といたしましては、地震、風水害などの自然災害に加え、様々な感染症に対する感染防止対策を行い、各企業が様々な対策を講じながら地域の防災を担う一団体として、消防本部と緊密な連携のもと、防災関係団体と協力体制を図り、稲城市の防火・防災活動に貢献できるよう令和5年度事業計画に基づき、火災予防広報活動や研修会など各種事業を展開してまいりました。

## 1 広報関係

春・秋の火災予防運動、稲城市防災訓練、稲城くらしフェスタ 2023 及び第11回平尾まつりなどの各種会場において、ミニ消防車の体験乗車や防災物品及び防火防災チラシなどの広報啓発用品を活用した広報活動や第22回Iのまちいなぎ市民まつりにおいて備蓄食料の廉価販売をはじめ、住宅用火災警報器未設置住宅への設置促進、既に設置されている住宅に対する交換の時期や適正な維持管理方法の周知など防火・防災PR活動を実施しました。

## 2 研修関係

市内事業所の防火管理者、危険物取扱者、当協会会員、自治会、自主防災組織、自治体職員及び市民などを対象に設立50周年記念講演会を実務研修会として、元東京ディズニーランド防火管理者 セーフティアドバイザーで防災士の石井修一氏を講師に招き、「ディズニーの危機管理から学ぶ～そなえた分だけ憂いなし～」を演題として記念講演会を開催しました。

視察研修会は、洪水を防ぐために建設された世界最大級の地下放水路である首都圏外郭放水路【防災地下神殿】を見学することで、洪水被害を軽減できる仕組みを確認いたしました。

## 3 その他

- (1) 8月30日(水)から9月5日(火)の防災週間中に赤ちゃんが誕生したご家庭に消火器をプレゼントしました。
- (2) 稲城市消防団、稲城市女性防火クラブ、坂浜地区・押立地区少年消防クラブへ活動支援を行い、稲城市社会福祉協議会へ寄附を行いました。